

日本心臓血管麻酔学会第 19 回学術大会

募金趣意書

日本心臓血管麻酔学会第 19 回学術大会

事務局

日本心臓血管麻酔学会第 19 回学術大会 ご寄付のお願い

謹啓時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、また医療の実践、医学の研究・教育・研修におきまして貴社製品を通じ、多大なご貢献を賜りまして誠に有難うございます。

さて、日本心臓血管麻酔学会第 19 回学術大会を、2014 年 9 月 20 日（土）～22 日（月）の 3 日間、大阪北摂の地にあるホテル阪急エキスポパークを主体として開催させていただきます。

本学会は、心臓血管麻酔領域に関心を持つ方々によって発足して以来、会員数が 2013 年 9 月現在で 3000 名あまりにまで増加してまいりました。このように勢いのある学会の会長を務めさせていただきますことを大変光栄に存じます。

わが国での麻酔科医を取り巻く社会的環境は、麻酔科学会発足後 60 年近く経過した現在なお厳しいものがありますが、医学の領域では 2 年後をめどに専門医制度が始まろうとしています。そのような意味で、本学会の心臓血管麻酔専門医制度は 2 階建て部分とはいえ時代の先駆けと考えられます。また、周術期経食道心エコー委員会による JB-POT 認定試験も 10 年以上行われており、本学会の大きな柱の一つとして成長しております。

第 19 回学術大会のメインテーマを「10 年先の心臓血管手術に対応する」としました。医療を取り巻く環境、機材、技術の向上はめざましいものがあります。心臓血管手術の領域でもカテーテル治療、ハイブリット治療、ロボット操作手術そしてステント手術など最先端の治療が取り入れられてきています。遠隔操作手術や再生医療、人工心臓そして遺伝子治療なども近い将来に始まると考えられています。麻酔科医もこうした最先端の心臓血管手術に対応していく必要があります。また、止血凝固能、3D 経食道エコー、脳脊髄機能そして新たな心拍出量測定などの新しいモニタリングシステムを使いこなしていくことが要求されます。さらに体表エコーによる神経ブロックや術前評価、気管支ファイバーによる診断、透視や CT 画像による評価など多くの知識や技術が要求されるようになってきました。

企画として、この 10 年の心臓血管手術の進歩とその未来について、国立循環器病研究センター研究所の先生方、そして病院の心臓血管外科、循環器内科、小児科、産科の先生方に教育講演をお願いする予定となっております。コメディカルセッションに関しましてもセンターの看護部、臨床工学部、薬剤部などを中心としてセッションを組んでいきたいと考えております。本学会の大きな柱である、経食道心エコー（TEE）については、3D 画像評価や臨床に役立つ内容を中心として有用な企画を用意する予定です。また、超音波エコーガイド下末梢神経ブロックや体表心エコーによる評価診断は、周術期の循環管理にその重要性が高まっていますので企画したいと考えております。ウェットラボやシミュレーターを利用した実習などもセンターのクラスター棟を利用して行いたいと考えております。本来、このような学術大会の運営は、参加者の会費により賄われるべきものではありませんが、会場借上費、映像機材費、ポスターパネル・看板制作費、プログラム作成費、人件費等の諸経費の負担は、学会の自助努力のみで賄うには極めて困難な状況に立ち至っております。本学術大会の運営にあたりましては、極力無駄を省き、質素且つ効率的にと努力する所存ではございますが、皆様方からのご支援に頼らざるを得ないのが現状でございます。

つきましては、甚だ恐縮には存じますが、上記の開催趣旨をお汲み取りいただきまして、何卒、貴社からのご浄財のご支援を賜わりたく、お願い申し上げます。

謹白

平成 25 年 11 月吉日

日本心臓血管麻酔学会第 19 回学術大会

会長 大西 佳彦

国立循環器病研究センター

外科系中央診療部門長、手術部長、臨床工学部長



日本心臓血管麻酔学会第19回学術大会

開催概要

会 期 2014 年（平成 26 年）9 月 20 日（土）～22 日（月） ※19 日（金）設営

会 場 ホテル阪急エキスポパーク
〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園 1－5

会 長 大西 佳彦（国立循環器病研究センター 外科系中央診療部門長、手術部長、臨床工学部長）

参加者 約 1,000 名

プログラム 招請講演、特別講演、教育講演、シンポジウム、文献セミナー、エコーハンズオン
CPB ハンズオン、Wet lab、一般演題（ポスター）、共催セミナー（予定）

事務局 国立循環器病研究センター 手術部麻酔科
〒565-8565 大阪府吹田市藤白台 5－7－1

運営準備室 株式会社 阪急交通社 団体営業部 大阪団体支店 営業一課
〒530-8355 大阪市北区梅田 2-5-25 ハービス OSAKA 9F
Tel:06-6372-3053 Fax:06-6376-2362 E-mail:secretariat@jscva19th.jp

日本心臓血管麻酔学会第 19 回学術大会 全体収支予算（案）

収入の部

	科目	予算額
1	参加費収入	11,290,000
2	共催セミナー収入	15,525,000
3	展示収入	10,290,000
4	広告収入	2,919,000
5	寄付金収入	3,000,000
6	学会補助金	2,000,000
	収入合計	¥45,024,000

支出の部

	科目	予算額
1	事前準備経費	6,000,000
2	プログラム集・制作費	5,225,000
3	その他制作費	4,500,000
4	会場関係費	12,000,000
5	招請費	4,000,000
6	機材・展示関係費	3,000,000
7	運営要員関係費	3,000,000
8	会合・懇親会費	4,000,000
9	事後処理・その他	3,299,000
	支出合計	¥45,024,000

寄付金募集要項

(1)学会名および代表者名

学会名：日本心臓血管麻酔学会第 19 回学術大会

代表者名：大西 佳彦（国立循環器病研究センター 外科系中央診療部門長、手術部長、臨床工学部長）

(2)募金目的

日本心臓血管麻酔学会第 19 回学術大会の準備及び運営の為の費用に充当

(3)募金期間

平成 25 年 11 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日

(4)募金総額

3,000,000 円（予定）

(5)寄付金の振込方法

次ページの「寄付申込書」を準備室まで F A X（06-6376-2362）の上、下記の口座までご入金くださいますようお願いいたします。

銀行名：三井住友銀行 梅田支店

口座番号：普通 8931798

口座名：日本心臓血管麻酔学会 第 19 回学術大会 会長 大西 佳彦

ヨミガナ：ニホンシンゾウケツカンマスイガツカイ ダイ 19 カイガクジュツタイカイ
カイチョウ オオニシ ヨシヒコ

(6)本学会に関するお問い合わせ先

日本心臓血管麻酔学会第 19 回学術大会 運営準備室

株式会社 阪急交通社 団体営業部 大阪団体支店 営業一課

〒530-8355 大阪市北区梅田 2-5-25 ハービス OSAKA 9F

Tel:06-6372-3053 Fax:06-6376-2362 E-mail:secretariat@jscva19th.jp

寄付金募集期間：平成 25 年 11 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日

FAX 06-6376-2362

日本心臓血管麻酔学会第 19 回学術大会 運営準備室 行

日本心臓血管麻酔学会第 19 回学術大会

寄付金申込書

日本心臓血管麻酔学会第 19 回学術大会
会 長 大西 佳彦 殿

この度、日本心臓血管麻酔学会第 19 回学術大会趣旨に賛同し、下記のように寄付致します。

_____万円

《払い込み方法》

- ☐ _____銀行_____支店を通じて指定口座に払い込みます。
☐ その他の方法

平成 年 月 日

貴社名：
ご住所：〒
担当者：

部 課 TEL：
FAX：
E-mail：

領収書（要・不要）